

第32回 馬路町文化祭

令和4年度第32回馬路町文化祭を11月6日(日)に秋晴れのもと「コロナに負けない!コロナと共生する!コロナを乗り越える!」をテーマに開催しました。馬路町自治会主催の文化祭も多くの皆さんの協力のもと成り立っています。ブースでは体育振興会による体力測定、青少年育成協議会・子ども会のくじ引き、防犯推進委員によるビンゴゲーム、手作りのアクセサリーや小物の販売、軽トラ市では海老芋や野菜の販売、畑良人さんのメダカの無料配布などが行われました。1階玄関には中澤はるみさんの盆栽菊が展示され、2階踊り場では環境クリーン団体による花苗配布も行われました。2階大ホールでは、習字教室で学んでいる子どもたちの力作、陶芸教室で楽しんでおられるみなさんの陶芸作品、絵画・書道・写真・手芸等多くの作品が所狭しと出品されました。川東保育所の園児たち、亀岡川東学園の児童生徒たち、南丹高等学校の生徒さんの作品も展示いただきました。多くの皆さんの協力のもと、文化祭を成功することができました。以前は食べ物の販売もしておりましたが、新型コロナウイルスの関係でここ数年見送られています。次回こそは、通年通り開催できますように願っております。今後も皆さまのご協力をお願いいたします。(古林 仁)



受け付けは
コロナウイルス感染
予防対策をとっています!

メダカすくい
何匹すくえたかな?



多くの作品が展示された
ブース
次回はうどんや回転焼き
食べたいな~!

川東保育所園児 「芋ほり」活動

10月21日(金)秋晴れのとても気持ちの良い日。農作業受託組合の皆さんにお世話いただき全園クラスが参加し、さつま芋ほりをさせていただきました。春から苗を植え準備していただいた芋畑は保育所のご近所で窓から大きく育つのを楽しみに待っていました。その日は10月生まれのお友達の誕生会。乳児クラスの小さい子どもたちも歩いて大きな畑に到着。受託組合の皆さんがにこやかに出迎えてくださり芋ほりスタート!畑のうねから顔を出すお芋を見つけると、つるを引っ張ったり周りの土を掘ったり懸命に格闘する子どもたち。ちょうど掘りやすい状態に畑を整えていただき快調に掘り進める事が出来、芋が出てきて大喜びでした。青空のもとで楽しい芋ほり誕生会となりました。皆さん本当にありがとうございました。(川東保育所より)



馬路町人権研修会

1月28日(土)午後7時30分より、馬路生涯学習センターで馬路町人権研修会を3年ぶりに開催しました。(公財)とよなか国際交流協会の三木幸美さんにより「熱と光をたぐり寄せる~「私たち」の社会の作り方~」と題してご講演いただきました。フィリピンと日本のハーフとして大阪の被差別部落で生まれ、8歳まで無戸籍、無国籍児として育てられた生い立ちやその後の人生経験から、差別や偏見のない社会に変えるために今私たちができることについて分かりやすくお話いただきました。研修会で学んだことを活かし、これからも人権尊重を基本に人と人とのつながりを大切に明るい馬路町をつくっていきましょう。(中川 徹)



町内 内溝さらえ

2月5日(日)早朝より、馬路町内各区(三ツ辻区を除く)で隣組ごとに共同で自宅周辺の溝さらえがおこなわれました。側溝が詰まると雨水が流れず、大雨の時には冠水しやすくなります。また、悪臭や害虫の温床になりかねません。溝さらえは、きれいな環境を守るためにも大切なことです。さらえた泥等は、馬路町横山にある処分場に運ばれます。今年は軽トラック延べ約50台が廃棄に來られました。内溝さらえは、皆さんが顔をあわせての共同作業で、コミュニケーションの場ともなっています。皆さん、大変ご苦労様でした。



お疲れ様です

きらきら ときめき イルミネーション点灯

令和4年11月15日から令和5年1月31日迄、馬路生涯学習センターの前方壁面と敷地内にある灯籠や石碑、棕の木に点滅式の電飾を飾りました。ピンクやオレンジ、ブルー、色とりどりのイルミネーションがとてもきれいに輝いていました。今回からサンタクロスや雪だるまのオブジェも加わり、川東保育所の子どもたちにもとても喜んでいただきました。きれいなだけでなく防犯予防にもなっています。次回も、よりバージョンアップして明るくきれいに輝かせたいと思っています。乞うご期待下さい。



今回からサンタのオブジェも登場しました!